

学習塾周辺における不審者出没時の対応マニュアルの一例

具体例 子どもからナイフを持った不審者が学習塾周辺をうろついているという情報を得た

緊急対応

情報の確認

・学習塾教職員を現場へ複数派遣し、地域の関係者等から情報を収集する。

警察への通報

・不審者に関する情報を提供し、巡回を依頼する。

教職員への周知

・情報を周知し、役割分担の確認をする。

子どもの安全確保

子どもの安全確保

・児童生徒を教室内へ避難させ、安全な場所で掌握できる体制を整える。

・複数の学習塾教職員で学習塾施設外の巡視をする。(学習塾教職員の安全には十分配慮する)

・門扉の施錠や出入り口の確認をする。

関係機関への連絡

隣接する学校への連絡

・不審者出没の情報を小中学校へ伝える。

緊急対策会議の開催

緊急対策会議の開催

・代表者、管理職、安全管理責任者等で、帰宅時の対策や保護者への対応について話し合う。

・不審者が侵入してきた場合を想定し、警察官が到着するまでの侵入者への対応や子どもへの指導内容等の確認をする。

確認事項

・子どもの安全な場所への避難とパニック防止

・来訪者への声かけの徹底

・防犯ブザーや警報装置等での危険の報知

・不審者の進路の遮断

・学習塾教職員自身の護身

・受傷者の応急手当や救急車の要請

・帰宅時の安全確保 等

情報の共有と対策の徹底

緊急教職員によるミーティング

・緊急対策会議で検討した対応策について役割分担等の共通理解を図り、全教職員で対応する。

状況によっては、ミーティングを開催せずに放送等で指示し、緊急に対応する。

参考：栃木県教育委員会「児童・生徒指導に関する危機管理マニュアル作成資料」